

タイトル： 【ほの国東三河応援メルマガ第216号（令和7年10月29日号）】

.....
ほの国東三河応援倶楽部 会員の皆様
.....

いちばんおいしい季節を迎えた「次郎柿」。豊橋が生産日本一なのは皆さんご存じのことと思います。
そして「柿が赤くなると医者が青くなる」そんなことわざがあるようで…。
調べてみると、柿はビタミンCとビタミンA、タンニンなどが豊富に含まれ、風邪予防、疲労回復
そして二日酔いにも効果がある、まさに医者いらずの健康食品です。
また、このことわざには、秋は天候が良く、体調を崩す人が少なくて医者が儲からないから青ざめるという意味もあるようです。
今では、夏のような暑さから急に寒くなったりで体調を崩しやすい時期とも言えますが、おいしい次郎柿を上手に食べてしっかり健康管理したいと思います。

□ ■

■ 【11/3 から受付開始】未来の農をつくる！学生のアイデア実現を応援！学生の挑戦への寄付募集中

豊橋市では「未来の農をつくる」をテーマに、スタートアップと地元農業者が共創する「TOYOHASHI AGRI MEETUP（豊橋アグリミートアップ）」を実施中です。

今年度からは「アグリテックコンテスト 学生部門」を新設し、市内の大学生たちが地域農業の課題解決に挑戦しています。
11月3日より、学生たちのアイデア実現を応援するためのクラウドファンディングを実施します。

東三河ゆかりの皆さま、ぜひご支援をお願いいたします。

【クラウドファンディング概要】

目標金額：200万円

募集期間：令和7年11月3日（月）～令和8年1月31日（土）

募集サイト：ふるさとチョイス ガバメントクラウドファンディングR

→<https://www.furusato-tax.jp/gcf/4223>

※返礼品はございません。

※いただいた寄付は、200万円を上限とし、全額入賞者にお渡しします。

※目標金額を超えた分は、学生のアイデアを実現するための支援や豊橋アグリミートアップの取組に活用させていただきます。

※豊橋市内在住の方の寄付もふるさと納税に該当し、寄附金税額控除の対象です。

＜アグリテックコンテスト学生部門とは？＞

事業の詳細はこちら！

→<https://toyohashi-agri-meetup.jp/student>

プログラムの進捗状況はこちら！

→<https://www.furusato-tax.jp/gcf/4223>

※学生のアイデアの詳細は11月頃掲載予定

未来の農業を担う学生たちの挑戦を応援してください！

□ ■

■ エニシング×銀座 伊東屋「銀座の前掛け展」開催

豊橋産の前掛けを販売しているエニシング（本社：東京都）と銀座に本店を構える文具店「銀座伊東屋」とがコラボレーションし、10月31日（金）から「銀座の前掛け展」が開催されます。
歴史ある銀座の名店のオリジナル前掛けを展示・販売しつつ、銀座老舗店の歴史、文化を伝えるイベントです。

前掛けの産地 豊橋市で100年以上稼働する昔ながらの「シャトル織機」で作られた、伊東屋オリジナルデザインの前掛けやトートバッグのほか、銀座の名店のロゴやモチーフをあしらった前掛けが登場。ここでしか出会えない限定商品となります。

昔ながらの織機を使い、丁寧に織られた前掛けと銀座の名店のロゴやモチーフをあしらったデザインで「銀座×前掛け」の特別な出合いを存分に楽しめるイベントです。

限定商品もあるとのことですので、この機会にぜひ足を運んでみてください。

会場：銀座 伊東屋 本店 G. Itoya 1階
期間：10月31日（金）～11月13日（木）

PR TIMES

→<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000007.000147555.html>

エニシング公式サイト

→<https://anything.ne.jp/blogs/news>



「Japan Mobility Show 2025」と国際自動車港湾「三河港」

日本の中央に位置し、豊橋、豊川、蒲郡、田原の4市にまたがる三河港は、
輸入自動車では金額・台数とも32年連続日本一！
輸出自動車では金額・台数は国内第2位！
と自動車貿易では世界でトップクラスの港です。

さて、10月31日（金）から一般公開される「Japan Mobility Show 2025（モビショー）」ですが、モビショーに出展する自動車関連企業と三河港との関係を少し紹介したいと思います。

●トヨタ、レクサス、センチュリー

田原市にはランドクルーザーやレクサス、センチュリーなどの車両やエンジンの工場と、生産された車両を国内や海外へ船で運ぶための専用ふ頭などがあります。

●スズキ

海外生産の車両の輸入拠点として、また静岡県湖西市などの工場で生産された車両の保管・国内外への輸送拠点として、豊橋市の神野ふ頭とその周辺が利用されています。

●三菱

主に岡崎市の工場で生産された車両を輸出するのに、蒲郡市のふ頭が利用されています。

●メルセデス・ベンツ／●ヒョンデ

海外生産の車両を神野ふ頭で陸揚げし、新車整備センターで品質検査や日本の保安基準などへの適合確認を行い、国内に輸送しています。

そのほか、三河港に進出している部品メーカーや、自動車船を運航している海運会社など三河港に関わる様々な企業がモビショーに出展しています。

また、モビショーの参加社リストにはありませんが、フォルクスワーゲングループ日本法人は本社と新車整備センターが、フィアット、プジョー、ジープなどを扱うステランティス ジャパンや、ボルボ、ランドローバーといった数多くのメーカーやブランドの新車整備センターも三河港の豊橋地区を中心に立地しています。

なんと、日本国内を走る輸入車の2台に1台は、三河港を利用しているのです。
こうした三河港との関わりもあわせてモビショーをご覧いただくと、楽しさが広がるといいます。

※会社やブランドは順不同。表記は略称使用または省略。

＜Japan Mobility Show 2025 開催概要＞

会期：10月30日（木）～11月9日（日）

会場：東京ビッグサイト

入場料：当日3,000円など（高校生以下など無料対象あり）

公式サイト

→<https://www.japan-mobility-show.com/>



「おでんしゃ」運行開始

豊橋市街地を走る市電の冬の風物詩「おでんしゃ」の運行が来月7日から始まります。ヤマサちくわ特製おでんやビールを楽しめる人気企画です。
また、ノンアルコール便も令和8年3月まで月1回走ります。
今年、豊橋鉄道市内線は、開業100周年を迎えました。流れゆく街並みと歴史を感じながら、友人やご家族と楽しい時間を過ごすのも乙なものです。

運航期間：令和7年11月7日（金）～令和8年5月6日（水・休）
※運休日：祝日・休日を除く毎週月・火・木曜日
（年末年始、その他沿線行事等による運休日があります）
※完全予約制

「おでんしゃ」の実施について（豊橋鉄道HP）
→<https://www.toyotetsu.com/event/000028.html>
市内線開業100周年記念企画 第2弾実施！（豊橋鉄道HP）
→<https://www.toyotetsu.com/news/000597.html>

会員の皆さんからも東三河ゆかりのお店や商品の情報をお寄せください。
メルマガやフェイスブックで発信します。
フェイスブックも、ぜひ「いいね！」してご覧ください。
<https://www.facebook.com/honokuni.higashimikawa/>

年度途中から会員になっていただいた方、過去の記事を閲覧されたい方のために、
ホームページ上にメルマガのバックナンバーを掲載していますのでご覧ください。
<https://www.city.toyohashi.lg.jp/44760.htm>

◇ほの国東三河応援倶楽部事務局◇
豊橋市東京事務所 宮下・桑原・井上
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-1 日本都市センター会館9階
電話：03-5210-1484 FAX：03-5210-1486
メール：tokyo@city.toyohashi.lg.jp
ホームページ <http://www.city.toyohashi.lg.jp/>
フェイスブック <https://www.facebook.com/honokuni.higashimikawa/>